

はじめに

とつとと結婚して、本当は、はやく主婦になりたかった。

そう思っていたのに、神様は簡単にそのようにさせてはくれず、

一人のまんま、20代、30代、40代が過ぎていく。

バブルの時代を経て、その頃は、みんな、気持ちのいいぐらいよく働いて、

気持ちのいいぐらいたくさん遊んだ。

うれしいことも楽しいことも苦しいことも悲しいことも、

いろいろな気持ちを味わった！

仕事でも、たっくさんの経験をさせてもらった。

*フリーランスで仕事をするようになってから25年。

*その前に、短期大学を出てから会社勤めの事務系仕事を通算7年半ぐらいして、残業も転職も転職もした。

*高校生の頃から一人旅が好きで、日本地図には強いほう。

*会社勤めを辞めた後、旅行系ライターになり、伊豆や箱根、長野、京都などニッポンのさまざまな観光地、各地温泉、各地ゲレンデなどの取材旅行へ。

*大好きな沖縄や八重山に、仕事としても通うようになる。

*沖縄の島で、沈む夕日を見ながら、海辺でビールを飲むのが至福！

*がんばりすぎて、30代半ばで、からだを壊し、卵巣嚢腫の手術をした。

*沖縄島旅で出会った女性たちの心の声を聞き、45歳のときに、海からほど遠い千葉県の某所に、真南風というヒーリングスタジオを立ち上げた。

以上は、私のプロフィール。

気の合う友達はたくさんいたし、仕事もうまくいっていたし、念願の一人暮らしもなかったし、順風満帆だったはずだが、心の底では、いつも、何か満たされずにいた。

だから、がんばりすぎて体をこわしたり、大好きな両親とも本音で話ができないまま大人になってしまい、結婚に理想を追いながら、恋愛もうまくいかず、くよくよしていた。

ようやく私の人生が動き出したのは、40代半ばになってから。

いるか（ニックネーム）というパートナーに出会った。

いるかは遠い宇宙にいるときから、再会の約束をしていた魂の片割れ。

ところが、現実には、私より20歳も年が上。自分とはまったく違う人生を歩んできた人だったので、この人がそうだとはいえ、なかなか気づかなかった。

相手は強くて、ごまかせなくて、本音で向き合えないとふき飛ばされてしまうから、私はがんばってついでいった。

しだいに、心身ともに本来の自分を取り戻し、再生していった。

夫婦であることを人前に誓ったのは、私が49歳で、いるかが69歳のとき。

この組み合わせでなければならなかった意味をかみしめて、これから残りの人生を全うしていくと私たちは心に決めた。

出会ったのが遅かったぶん、毎日が心から楽しくて、濃厚な時間が過ぎていく。

いろいろな経験は、今日のためだった。

人生には無駄なことはひとつもなく、すべてに意味があることを知る。

今、起こっていることも、必ずなにかにつながっている。

そして、人生は、何回でも、何歳からでも、スタートできるのだ。